第49回 全老連全国大会宣言

新型コロナ禍の中、地域共存社会の実現に向けて取り組もう！

わが国では、少子高齢化が進み、人口減少が本格化するなかで、引き続き社会の活力を維持・増進していくことが重要な課題となっています。

そのため、国においては、高齢者や子ども、障害のある人々などあらゆる住民が、意欲と自らの能力に応じて役割をもち、相互に支え合いながら、地域、暮らし、生きがいを共に築きあげていく「地域共生社会」の実現に向け、法改正のもとに取り組みをすすめていこうとの動きにあります。

そのようななかで、高齢者の当事者団体である全国の老人クラブが、主体的、積極的に社会参加を働きかけ、健康づくりや地域づくりに努め、貢献していくことは、きわめて意義のあることです。

とりわけ、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という、かつて経験したことのない災禍におかれている今日、感染予防のための「新しい生活様式」を取り入れながら、創意工夫を凝らして多様なクラブ活動と互助活動を推進していくことが期待されています。

私たち老人クラブ会員は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の重点事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、高齢者の社会参加を働きかけ仲間づくりの輪を広げます

一、健康づくり・フレイル（虚弱）予防で元気高齢者をめざします

一、友愛活動を基盤に新地域支援事業と連携した支え合い活動に努めます

一、高齢者の尊厳が守られる諸制度・地域共生社会の実現をめざします

令和2年11月18日

第49回
全国老人クラブ大会

※第49回全国老人クラブ大会（山形大会）は、新型コロナウイルスの感染拡大をふまえ、開催を中止することになりました。本大会宣言は、参加予定であった1600名の老人クラブ代表者の決議を得ることは叶いませんでしたが、主催団体の合意を得て公表することとし、関係各方面への配布をもって採択があったものとさせていただきます。

令和２年度全老連代表者会議

今年度は感染拡大防止のため、WEB会議実施！

令和２年度の都道府県・指定都市老人クラブ連合会代表者会議は、令和３年２月２日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の会長・女性委員代表・事務局長三者が参集する会議から、２時間に限定したＷｅｂ会議（カメラ放送会議）で開催されました。

議題は、大きく分けて３つで、①行政説明、②令和２年度全老連事業進捗状況、③令和３年度全老連事業計画・概算予算素案の説明でした。

まず、厚生労働省の認知症施策・地域介護推進課の笹子課長からは、「高齢者関連施策の動向とコロナ禍での支え合い」をテーマとする説明があり、コロナ禍で、本年度は昨年度と比べ、高齢者の外出機会が約20％減少し、認知機能の低下やうつに関する項目の該当者が約５％程度増加したことが報告されました。

全老連においても、令和２年度は、新型コロナウイルスの関係で、事業執行に大きな制約を受けており、また、令和３年度の事業計画では、コロナ禍における感染予防と健康の保持・増進について、①新しい生活様式（「ひょうごスタイル」）に基づくクラブ活動（３密を避ける計画・運営の工夫、参加者への感染予防対策の周知徹底〈体調の確認、マスクの着用、人との間隔等〉）また、②自宅でできる身体と心の健康づくりの呼びかけを重点的に取り組むことが報告されました。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています